



## 生徒の主体性を育てる、さまざまな活用

### ～朝学習・授業で活用！学習結果は形成的評価へ～

桜が丘中学校では、「誠実・友愛・創造・健康」の校訓のもと、「知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」を目指し、教育活動を行っています。今回は、朝学習と授業にラインズeライブラリを取り入れた実践をご紹介します。

#### 朝学習は、各教科担当が指定した範囲を復習



▲ 先生から指定された問題に取り組む

朝学習は、教科担当の先生が「一斉単元学習」で、前の週に学習した単元を出題します。この日は、国語の「いろいろな言葉」から和語・漢語・外来語の復習です。つまづいた問題は、リトライ機能で学び直し、正答を重ねていきました。

##### 朝学習／週4回

5教科を

ローテーション

	月	火	水	木	金
集会		国語	数学	社会	理科
		英語	国語	数学	社会

#### 自分に合った学び方で知識の習得を目指す



▲ 解答解説を見直して、理解を深める

生徒の理解状況や学習方法によって、学び方はさまざまです。苦手を克服するために基本から学習する生徒もいれば、応用力をつけるために挑戦レベルから学習する生徒もいます。また、問題を解いた後、より理解を深めるために、解答解説を熟読し、見直しをする生徒もいました。各々が自分に合った学び方を見つけ、知識習得を目指して最後まで集中して取り組んでいました。

#### インタビュー 教科担当が連携することで、計画的に運用

朝学習は、全生徒が各教科の基礎的な知識を習得することを目指し、ラインズeライブラリを活用しています。公立高校の入試にちなんで、「国語、数学、社会、理科、英語」の順番で実施しており、**各教科担当が授業進度に応じて、学習範囲を決めて、計画的に進めています。数学では、確認テストも活用しており、理解度確認や復習教材にも取り組んでいます。**

ラインズeライブラリを活用するようになってから、**指定範囲の単元から効率よく教材を選べるようになり、短時間で多くの問題に取り組めるようになりました。**3年は、高校入試を控えているので、朝学習で高校入試過去問に取り組む時間を設けようと考えています。



数学科  
藤本 泰地 先生

# すべての教材を100点に！目標をもって復習



▲ 基本レベルの問題から復習する

## 数学 1年：比例と反比例の利用

この日の佃先生の授業は、個人ワーク・グループワークを通じて、さまざまな解き方に触れ、思考を広げていきます。そして、まとめの時間になると、より理解を深めるため、既習範囲をドリルで復習します。生徒は、自分の理解度に合ったレベルから始め、すべての教材で100点がとれることを目標に取り組んでいきます。つまりいた問題は、プリントを見直したり、教科書で解き方を確かめたりしながら、真剣に取り組んでいました。

### 授業の流れ



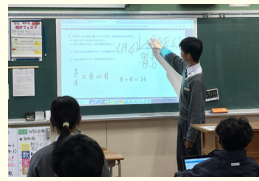
めあて・課題の提示

めあてと学習課題の取組方を伝える。



個人ワーク ▶ グループワーク ▶ 発表

学習課題の問題に取り組む。個人ワークは、協働学習ソフトで出題した問題を解き、グループワークは、解き方を共有して、考え方を深めたり、広げたりする。



復習・定着①

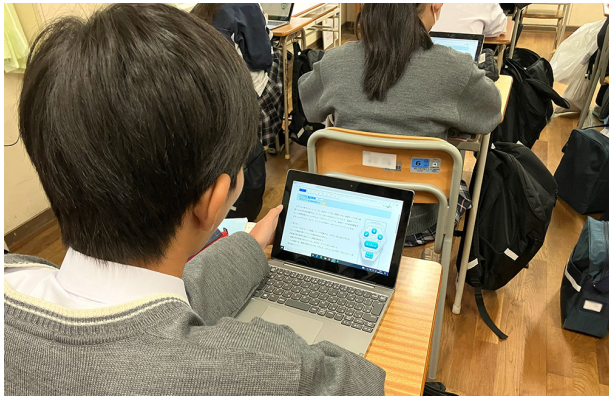
既習範囲のドリルと単元別プリントに取り組む。



復習・定着②

協働学習ソフトで再度出題した問題を解く。

# 考えることが楽しい！思考力育成問題で探究心が高まる



▲ 思考力育成問題を熟読

学習進度の速い生徒は、「思考力育成問題」にもチャレンジします。生徒の一人から「問題文をすべて読んで、考え方を理解しないと答えられないので、解き甲斐があって楽しいです」と感想がありました。問題に取り組むにつれ、「こういう解き方もあるのか」と探究心も高まり、さまざまな視点から解き方を考えています。正答すると、真剣な眼差しが笑顔に変わり、次の問題も意欲的に取り組んでいました。

## 思考力育成問題 1年：反比例の利用 (1)

まゆさんの家のファンヒーターは、低温モードでは1時間に0.4L、高温モードでは1時間に0.5Lの灯油を消費する。タンクいっぱいに灯油が入っているとき、低温モードでは、15時間使用することができる。このファンヒーターは、高温モードでは何時間使用することができるか。ただし、タンクには灯油がいっぱいに入っていることとする。

身近な事象や事柄が題材

<考え方>

・ともなって変わる2つの数量についての問題では、次の①～②の流れで考える。

①2つの数量の間にどのような関係があるか考える。

②数量の間の関係を利用して、問題を解決する。

・数量の間の関係を考えるときは、表や式、グラフで表して考える。

・この問題では、数量の関係を式に表して考える。次の(1)、(2)の問いに答えながら、問題を解決しなさい。

題材に対して、着目する点や考え方を知る

(1) 1時間に使う灯油の量と、使用できる時間との関係を式に表す場合、次のように考える。

まず、数量の関係をことばの式で表すと、

(使える時間) = (タンクいっぱいの灯油量)  (1時間に使う灯油量)

低温モードでは15時間使用できるので、タンクいっぱいの灯油量は  Lである。

よって、1時間に使用する灯油の量を  $x$ L、使用できる時間を  $y$ 時間とすると、 $x$ と $y$ の関係は次の式で表せる。

$y = \text{$

よって、 $y$ は $x$ に  している。

(2) (1)で関係を表した式から、高温モードでは何時間使用することができるかを求める場合、次のように考える。

問題より、 なので、これを式に代入して求める。

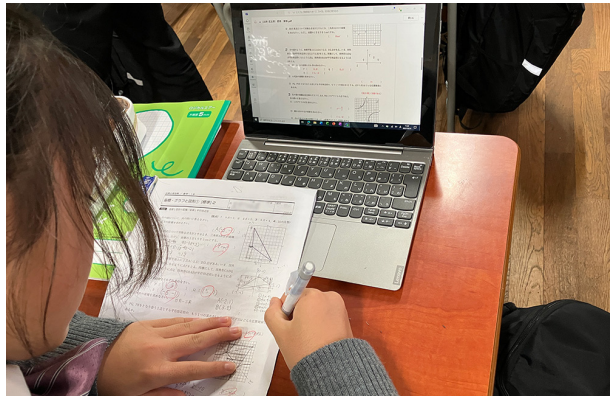
$y = \frac{6}{0.5}$   
= 12

<答え>

このファンヒーターは、高温モードでは  時間使用できる。

前提事項をもとに、問いに答える

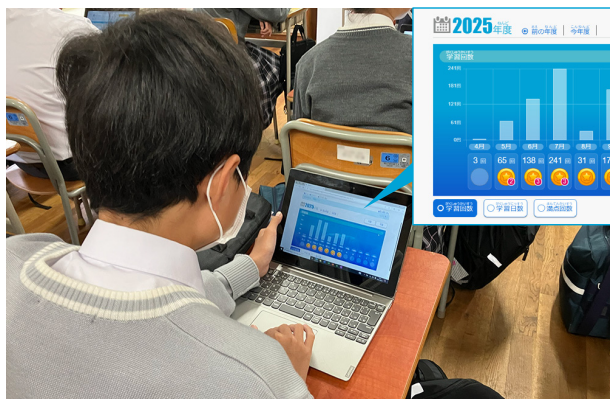
## ■ 解き終わったプリントも成長のヒントに！



▲ 自己採点して、つまずきを自己分析する

まとめの時間は、学習教材を自分で選べるところもポイントです。前時に解いた単元別プリントを自己採点し、つまづいた問題をピックアップすることで、苦手傾向をメタ認知します。解説教材や教科書で解き方を確かめ、プリントにつまづいた理由や解くときの注意点をまとめるなど、工夫しながら取り組む姿も見られました。解き終わったプリントは、自己分析に活用し、自身が成長するためのヒントとしています。

## ■ 取組状況をふりかえり、達成感や学習意欲を高める

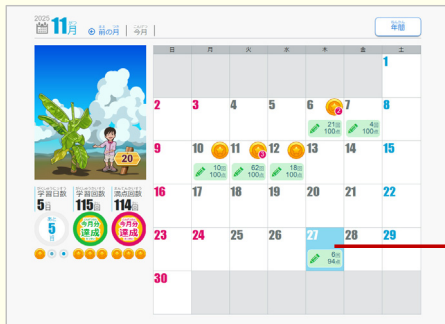


▲ 月ごとの学習回数を確認する

ドリルが終わった生徒は、「ふりかえり」のグラフから、月ごとの学習回数や満点回数を俯瞰しています。「あっ！9月の学習回数が伸びている」「先月より少ないから、もっと頑張ろう」と生徒から声が上がります。学習傾向や進み具合から、達成感を得て、学習意欲が高まっているようでした。このふりかえりが出発点となり、次の学びへとつながっていきます。

### 月間カレンダー

カレンダーから、その日に取り組んだ教材や獲得したメダルを確認できます。取り組んだ教科や内容を確認、達成感を得ることができます。



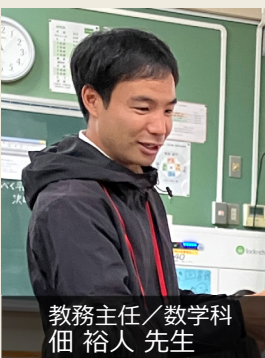
学年	教科	単元名 教科名	満点	レベル/種別	メダル	タイトル
中学1年	数学	比例と反比例の利用 比例の利用(1)	100点	基本	円	
中学1年	数学	比例と反比例の利用 比例の利用(1)	100点	標準	円	
中学1年	数学	比例と反比例の利用 比例の利用(1)	100点	挑戦	円	
中学1年	数学	比例と反比例の利用 比例の利用(まとめ)	100点	基本	お	
中学1年	数学	比例と反比例の利用 比例の利用(まとめ)	100点	標準	お	

## インタビュー

### 「できた！」の実感が、自信や自己肯定感につながる

本時では、学習内容の定着とふりかえりにラインズeライブラリを活用しました。生徒によって学習進度や習熟度は異なるため、自分の理解度に合った教材を復習できるところがラインズeライブラリの良いところです。三つのレベルから一つでも100点が取れると、「できた！」を実感でき、自信や自己肯定感につながっています。繰り返し取り組むことで、最終的には、先生からの指示や課題が無くても、主体的に学習できるようになってほしいと思っています。

数学の教材は、「方程式の利用」のように、学年を越えて学習系統がつながっている内容で使いやすいです。また「文章問題」は、すべてのレベルに解答解説がついており、解き方のプロセスや図解で丁寧に説明しているため、難しい問題でも、自分で解き進められるのも良いです。



教務主任／数学科  
佃 裕人 先生

# 授業課題の結果を形成的評価に活用

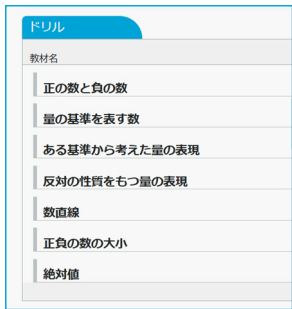
氏名	基本				標準				挑戦				最終学習日
	学習回数	初回平均点	最終平均点	リトライ回数平均	学習回数	初回平均点	最終平均点	リトライ回数平均	学習回数	初回平均点	最終平均点	リトライ回数平均	
〇〇 〇〇	1	72	100	2	1	88	100	1	1	60	100	2	2025/10/31
〇〇 〇〇	1	58	72	1	1	25	88	1	1	20	40	1	2025/10/31
〇〇 〇〇	1	100	100	0	1	88	100	3	1	80	100	1	2025/10/31
〇〇 〇〇	1	100	100	0	1	100	100	0	1	80	100	1	2025/10/31
〇〇 〇〇	1	15	58	1	1	38	75	1	1	40	80	1	2025/10/31

◀「成績管理」から取組状況を確認して、一人一人の理解状況を把握

佃先生は、授業で取り組んだドリルの結果を、学びの様子を見取るための形成的評価として活用しています。

「成績管理」を活用することで、生徒一人一人の得点の伸びを、初回平均点と最終平均点の差から確認でき、3つのレベル（基本・標準・挑戦）ごとの理解状況も把握することができます。その結果をもとに、気になる生徒には授業の様子を観察しながら個別に声をかけます。全体的に理解度が低い場合は、授業の進め方を見直すなど、次時の授業改善にもつなげています。

## 学習状況を定期的に伝え、学びを後押し



ドリルの教材ごとに学習状況シートを作成

ラインズeライブラリ (数学)	
1年 組 番 名前	7月4日現在の学習状況
正の数と負の数	正の数と負の数
数の基準を表す数	数の基準を表す数
ある基準から考えた量の表現	ある基準から考えた量の表現
反対の性質をもつ量の表現	反対の性質をもつ量の表現
数直線	数直線
正負の数の大小	正負の数の大小
絶対値	絶対値
正の数と負の数の加法・減法	正の数と負の数の加法・減法
加法	加法
同符号の数の加法	同符号の数の加法
異符号の数の加法	異符号の数の加法
加法の計算法則①	加法の計算法則①
加法の計算法則②	加法の計算法則②
減法①	減法①
減法②	減法②
正の数の減法①	正の数の減法①
正の数の減法②	正の数の減法②
負の数の減法①	負の数の減法①
負の数の減法②	負の数の減法②
0をよけり加法と減法	0をよけり加法と減法
小数をよけり加法	小数をよけり加法
分数をよけり加法	分数をよけり加法
加法の引き算への活かし方	加法の引き算への活かし方
加法と減法が混じった計算	加法と減法が混じった計算
分数、小数の混じった計算	分数、小数の混じった計算
「基本」「標準」「挑戦」を100に下ろす。どれか1つができていない場合は「1」	
学習ができていない数	
0 / 135	

生徒が学習した結果は、学習状況シートに転記し、一人一人に配布します。学習状況が可視化されることで、モチベーションが高まったり、学習意欲の継続につながったり、生徒の学びを後押ししているとのこと。

「実施教材数／総教材数」を記載して、生徒の学びを後押しする。

## インタビュー

### 幅広い使い方が、教科指導力の向上につながる



校長 小西 徹治 先生

本校では、「学ぶ喜びが実感でき、学び続ける力が身につく学校」を目指し、学期に1回のペースで、校内研究授業および研究協議の機会を設け、授業改善に努めています。やはり学校の主役は生徒です。生徒それぞれに居場所があり、先生や友達に気軽に相談でき、勉強がわかる学校をつくり、『生徒が通いたくなる学校』でありたいと思っています。

**ラインズeライブラリは、AI型ドリルであり、自分の得意・苦手を教えてくれます。また、問題数が多いだけでなく、学び方を自己選択・自己決定でき、生徒の頑張りを一目で見取れるように工夫されています。取り組ませ方の幅が広い分、担当教科の年間指導計画にどのように位置づけ、どのように取り組ませ、見取っ**

**いかを熟考する必要があります、それが教科指導力の向上にもつながっています。**新しいことを取り組むには、現状を変えていく力が必要ですが、何事も一歩を踏み出すことが大切だと思っています。